



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2004. 8 月号



大念寺六地藏の一体。合掌像。

会期: 7月31日(土) ~ 9月10日(金)

場所: 博物館1階寄贈品コーナー

寄贈品コーナー

「お地藏さんと私たち」

8月24日は月遅れの地藏盆です。お地藏さんに供物をあげ、ゴザを敷いてお念仏を唱える様子を市内数カ所で見ることができます。それにちなみ、8月の寄贈品コーナーはお地藏さんの特集展示です。

亡き子の成仏を念じて小石を積み上げ、子育て地藏に健やかな成長を願い、延命地藏に長命を祈念し、事故現場に交通安全地藏を立てたりと、私たちはお地藏さんに様々な思いを寄せてきました。

地藏に供えられた石を借り出して自分のイボをこすり、治ったら石を倍返しするというイボトリ地藏、日照りで困った時に雨が降るまで川に沈められたという雨乞い地藏など、特定のご利益を期待されたお地藏さんもあります。それだけ、お地藏さんは私たちの様々な願いを聞いてくれる、身近で親しみ深い仏さまです。

展示では、平塚のお地藏さんの写真パネルや、念仏講の道具などを紹介します。最大の見どころは、四之宮の大念寺から寄贈された本物の六地藏です。江戸後期の作と推定される地藏で、姿かたちが優れ、持物などを細かく鑑賞することができます。持物や印相(手の組み方)は、向かって左から合掌、香炉、念珠、錫杖と宝珠、払子、幡です。大念寺の墓地整理事業に伴い、珍しい六角柱型六地藏や単体のお地藏さん、十王と奪衣婆も寄贈していただきましたので、あわせて展示します。どうぞお楽しみに。

増えてきた外来生物

今まで見たことのない動植物が急に増えてくることがあります。多くの場合、それは外来の種類です。今回の展示で紹介した、そうした外来種のいくつかを紹介しましょう。生きもの地図を作っていくことは、こうした種類の動向を把握していく上でも大きな武器になります。

●**タイワンシジミ**／用水路などに多く見られる殻が黄色っぽいシジミです。一見すると在来種のマシジミに似ているので、気づかれてこなかったのですが、実際にはマシジミはほとんど絶滅しており、それにかわってアジア原産のこの種が増えていることが分かってきました。伊勢原市にある向上高校の生物部が熱心に分布調査を行っており、城山町から平塚市にかけての相模川、金目川の流域一帯で、マシジミが見つかったのはわずか1ヶ所、それ以外はすべてタイワンシジミでした。展示では、その調査結果が紹介されています。また、水槽には実物のタイワンシジミも飼育していますので、じっくり見てください。向上高校の園原先生のお話では、在来のマシジミと間違えて積極的に放流したようなこともあったようで、知らない内に外来種を増やしてしまった例としてあげられるでしょう。



特別展「平塚のいきもの地図」会場

●**コハクオナジマイマイ**／西日本原産のカタツムリで、殻の中央に黄色い内蔵が透けてみえるのが特徴です。植木か何かについて持ち込まれたらしく、1998年に平塚の土屋で見つかったのが関東地方では2ヶ所目の発見でした。その後グングンと増え、今では土屋や吉沢ではもっとも数の多いカタツムリになっています。農作物に被害を出している場所もあり、今後の動向が気になる種類です。



展示中のアライグマの剥製

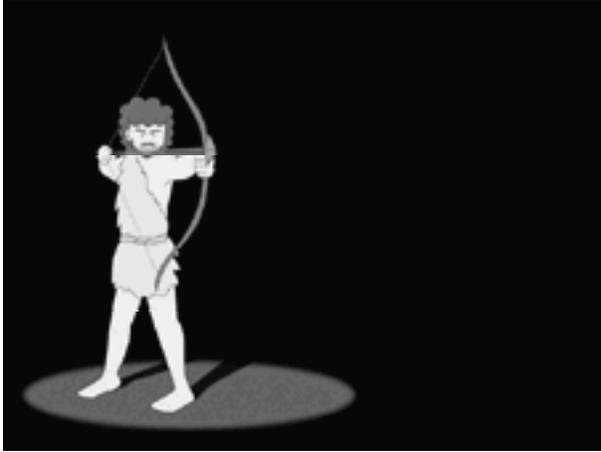
●**アライグマ**／近年、神奈川県で急速に増え、いろいろな問題を引き起こしているほ乳類です。アメリカ原産のこの動物は、ペットとして人気があり、野外に放す不心得な人がいたために野生化しました。鎌倉市から三浦半島にかけての地域では、もっとも数の多いほ乳類になっており、農作物被害を出しているほか、小網代の森でアカテガニをさかんに食べるなど、生態系への影響も心配されています。平塚では、今のところ、はっきりした生息情報はありませんが、気をつけていきたい生きものです。展示室では、県立生命の星地球博物館からお借りした剥製を展示しています。

●**イケノミズハコベ**／ごく最近増えてきた外来植物で、平塚では2003年5月に初めて報告されたばかりですが、急激に増え、金目などでは用水路を緑色に埋め尽くしている場所もあるほどです。国内では、山梨県、神奈川県津久井町などでクレソンを栽培している湿地で見つかったのが最初でした。水草は、水の流れに乗って運ばれるので、猛スピードで広がることがあります。

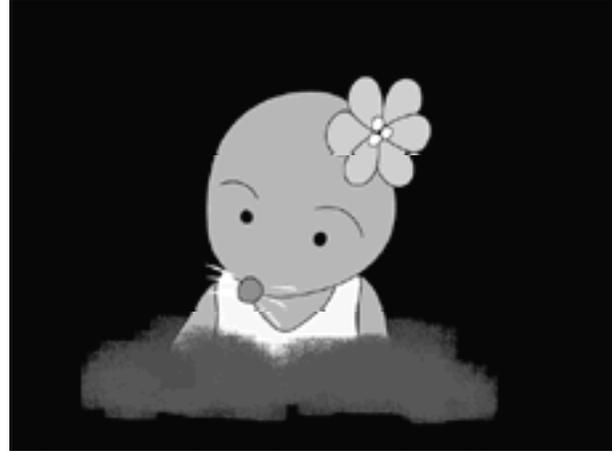
フラネタリウム番組

星座英雄伝－悲しみのヘルクレス

8月29日まで 土日水木曜 11:00、14:00*



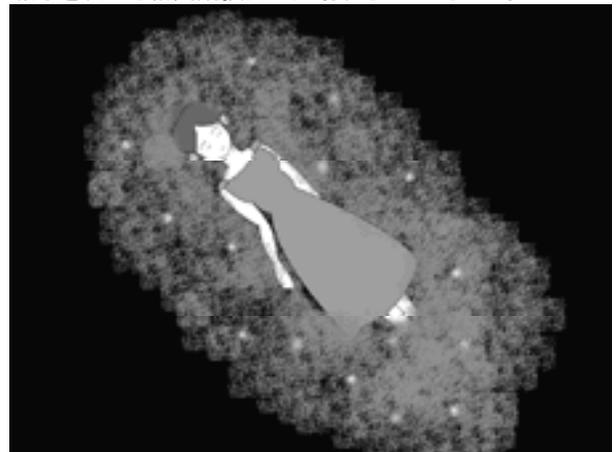
アルゴス王の命で12の冒険をなしとげたヘルクレス。しかしヘーラー女神の呪いのため、帰国したテバイでの戦いで、あやまって最愛の妻メガラーと家族を死なせてしまった。以来弓矢を取らず諸国を放浪する。



傷心のヘルクレスと、彼を励ますアテネの英雄テーセウスの前になぞのモグラが現われ、つきまとう。テーセウスの計らいで、ヘルクレスは、当地の王女デアネイラの結婚相手を決める格闘競技会に出場することになった。



想い慕うヘルクレスの悲しい過去を聞かされたデアネイラは、彼の悲しみをともに背負うことができるのか、思い悩む。月光の下、彼女にはある決断が・・・



ヘルクレスの新たな妻になったデアネイラだったが、ふたりの旅立ちには思わぬ罠がひそんでいた。危機に落ちるデアネイラ。ヘルクレスは彼女を救えるのか。

イラスト(敬称略): 仲野貴子、大竹智子、平林由美ほか

オリンピックが開かれるギリシャは星座のふるさと。プラネタリウムでも、夏の星座のひとつで、ギリシャ神話の英雄ヘルクレス(ヘラクレス)の物語をお届けします。お楽しみください。

ところでこのお話は、古代アテネの三大悲劇詩人の一人エウリピデスの作品『狂えるヘーラクレース』をもとに、その続きの形で書き下ろしました。原作は、ヘルクレス一家を襲ったテバイでの事件と、我を失ったヘルクレスを勇気づけるテーセウスを描いています。

原作が作られた時代、デロス同盟の盟主アテネは、ペロポネソス同盟を率いるスパルタと対立しており、ヘルクレスを助ける人格者に自国の祖テーセウスを配したのは、エウリピデスの政治的な作意といえるかもしれません。神話時代の後、ペロポネソス半島に侵入したドーリス人はヘルクレスの末裔と称しており、スパルタは彼らが建てた国のひとつだったからです。

ヘルクレスを描いた悲劇作品は少なく、この他に有名なのはソポクレスの『トラキーアの女たち』です。実は今回の物語の結末にその悲劇の伏線があるのですが、それはまたいつか別の機会にご紹介しましょう。

－主題歌：MOGURA(歌・アクアマリン)博物館Webで公開中－

* 8月7日(土)14:00の回の投影は『8月の星空』に変更になります

博物館カレンダー

2004年8月の行事

8	1	日	民俗探訪会「素鷲神社鹿島踊り」	湯河原町
8	4	水	社寺と祭を調べる会 体験学習「縄文土器を作ろう」	特研究室 科学教室
8	5	木	◎ 自然観察入門講座「貝化石を調べる」 ◎ 星を見る会「夏の星空」 ◎ 体験学習「縄文土器を作ろう」 ◎ 展示解説ボランティアの会	野外 屋上・科学室 科学教室 特研究室
8	6	金	◎ 古文書講読会 ◎ 自然観察入門講座「貝化石を調べる」 ◎ 体験学習「縄文土器を作ろう」 ◎ 博物館ふたいうらツアー	講堂 野外 科学教室 館内
8	7	土	◎ 特別展記念講演会「生きもの地図は語る」 ◎ 星まつりを調べる会	講堂 講小磯
8	8	日	古代遺跡を探す会 地質調査会	講堂 科学教室
8	12	木	天体観察会「流星群」	野外
8	13	金	◎ 天体観察会「流星群」 ◎ 博物館ふたいうらツアー ◎ ハーモニカコンサート	野外 館内 展示室
8	14	土	◎ 天体観察会「学習会とSW調査」 ◎ 漂着物を拾う会	屋上・特研究室 虹ヶ浜
8	15	日	◎ ろばたばなし ◎ 水辺の楽校生きもの調べの会	展示室 水辺の楽校
8	18	水	裏打ちの会	科学教室
8	19	木	◎ 星を見る会「夏の星空」 ◎ 体験学習「地形模型」 ◎ 天体観察会「スターウォッチング調査」 ◎ 展示解説ボランティアの会	屋上・科学室 科学教室 屋上 特研究室
8	20	金	◎ 体験学習「地形模型」 ◎ 雑貨団公演「シアトリカルプラネタリウム」 ◎ 博物館ふたいうらツアー	科学教室 プラネ室 館内
8	21	土	◎ 自然の新聞を作る会 ◎ 民具に親しむ会 ◎ 天体観察会「夏から秋の天体観察」	野外 科学教室 月光天文台
8	22	日	相模川の生き立ちを探る会	野外
8	24	火	◎ 体験学習「縄文土器を作ろう」	科学教室
8	26	木	◎ 星を見る会「夏の星空」 ◎ 石仏を調べる会	屋上・科学室 特研究室
8	27	金	◎ 古文書講読会 ◎ 博物館ふたいうらツアー	講堂 館内
8	28	土	◎ 空襲と戦災を記録する会 ◎ 地質調査会	特別研究室 野外

<展示とプラネタリウム>

☆夏期特別展「平塚の生きもの地図」
会期：9月5日(日)まで
時間：9時～17時(ただし金曜日は19時まで開館)
会場：平塚市博物館特別展示室

☆プラネタリウム

「8月の天文現象」
投影日：8月7日(土) 14時
観覧料：100円(中学生以下無料)
「星座英雄伝-悲しみのヘルクレス」
※本紙3ページをご覧ください。

☆寄贈品コーナー

「お地藏さんと私たち」
実物の六地藏や念仏講の道具などを展示します。
会期：9月10日(木)まで

<参加者募集>

◎漂着物を拾う会

海岸に流れ着いた物から、来歴を推理したり、自然環境を考えます。
日時：8月14日(土) 9時30分～11時
場所：平塚虹ヶ浜海岸
参加：自由(ただし、初めての方は往復はがきで申し込むこと)

◎ろばたばなし

民家の囲炉裏端で昔話を聞いてみませんか。
日時：8月15日(日) (1)13時20分～ (2)15時～
場所：展示室民家
参加：自由

2004年9月の行事

9	1	水	社寺と祭を調べる会	特研究室
9	2	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
9	3	金	古文書講読会	講堂
9	4	土	☆ 「フリートークプラネタリウム」(～10/3) ◎ 星まつりを調べる会	プラネ室 講堂
9	5	日	◎ 古代遺跡を探す会 ◎ 地質調査会	野外 科学教室
9	8	水	☆ プラネタリウム「学習投影」 ◎ 博物館実習(～9/15)	プラネ室 館内
9	9	木	◎ 湘南コケの会 ◎ 石仏を調べる会	講堂・野外 横内
9	10	金	◎ 古文書講読会	講堂
9	11	土	◎ 相模川の生き立ちを探る会 ◎ 漂着物を拾う会	野外 虹ヶ浜
9	12	日	◎ 水辺の楽校生きもの調べの会	水辺の楽校
9	15	水	◎ 裏打ちの会	科学教室
9	16	木	☆ 寄贈品コーナー実習生(～10/14) ◎ 展示解説ボランティアの会	展示室 特研究室
9	17	金	◎ 古文書講読会	講堂
9	18	土	◎ 民俗探訪会「御霊神社面掛行列」	鎌倉市
9	19	日	◎ ろばたばなし ◎ 石仏を調べる会	展示室 横内
9	23	木	◎ 植物誌調査会	野外
9	24	金	◎ 古文書講読会	講堂
9	25	土	◎ 空襲と戦災を記録する会 ◎ 地質調査会 ◎ 天体観察会「学習会」	特研究室 野外 屋上

☆：展示(無料)、プラネタリウム(観覧料) ○：申込制 ◎：自由参加 無印：年間会員制

◎星を見る会「夏の星空に親しもう」

夏の星座や二重星、月面の迫力あるクレーターなどを観察します
期日：8月5日(木)、19日(木)、26日(木)
時間：19時00分～20時30分
場所：博物館屋上
参加：自由

◎博物館ふたいうら探検ツアー

博物館の舞台裏を学芸員が案内します。
日時：8月の毎週金曜日 午後1時～3時
対象：小中高校生(保護者同伴も可)
参加：自由(当日、午後1時に博物館入口集合)

◎ハーモニカコンサート

出演：片倉広義さん・片倉義人さん
日時：8月13日(金) 17時～18時30分
場所：博物館展示室(相模の家)
入場：自由

◎体験学習「地形模型を作ろう」

博物館の1階にある地形模型の一部を石膏で作ります。
期日：8月19日(木)・20日(金)
時間：9時～16時半
対象：小学4年生以上で両日参加できる方
場所：博物館科学教室・城島分室
材料費：1200円

申込：往復はがきで8月8日まで
定員：15名(応募多数の場合は抽選)

◎自然の新聞を作る会「夜の雑木林を歩こう」

日時：8月21日(土) 午後6時～9時
場所：吉沢
申込：往復はがきで8月10日まで
定員：30名

◎雑貨団プラネタリウム公演

シアトリカルプラネタリウム VOL19
「プラネトイド」
日時：8月20日(金) (1)14時 (2)18時 (1回約1時間半)
申込：8月18日(水)まで電話にて受付
定員：各回50名
費用：無料

あなたと博物館 30巻 5号 通算332号 発行 平塚市博物館 2500

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949

E-Mail:muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp ホームページ <http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/>